

支部長からのメッセージ

経済産業省

中部近畿産業保安監督部近畿支部

令和2年7月

国家公務員(技術系)を志望される皆様へ

中部近畿産業保安監督部近畿支部長の橋です。

「産業保安監督部」をご存知でしょうか。

「中部近畿産業保安監督部近畿支部」とは、近畿経済産業局と並ぶ、経済産業省の地方支分部局の一つであり、近畿7府県域の経済、産業基盤を支える電力、都市ガス、高圧ガス、石油コンビナート等のエネルギーインフラに係る事故防止及び火薬類、鉱山の人への危害防止等、安全規制・安全施策の推進など「産業保安」に関わる業務を実施している組織です。

「産業保安」というと、ややなじみにくい分野と思われるかもしれませんが、国民生活を支える非常に身近な分野です。例えば、日々の生活で停電がなく、電気を安全に利用できるのは「産業保安」が維持されている証拠です。平成30年6月の大阪府北部地震では、約一週間にわたって大阪ガスの都市ガスの供給が停止し、同年9月の台風21号では、約二週間にわたって関西電力の電気の供給が停止し、社会的な影響が極めて大きなものとなりました。こうしたライフラインなどへの影響をできる限り最小限とするため、平時から関係業界に対する指導監督に努めておりますし、もし、災害が発生し、ライフラインに被害が生じた場合には、関係業界と一緒に迅速な復旧に向けた対応を行っていくこととなります。このように職員一同は、技術系職員ならではの高い専門性を活かし、正に国民の安全な生活、経済の発展のため、社会の重要基盤を支える業務を行っており、また、そのような役割を担っていることを自負しております。併せて、業務遂行の際は、無駄なく効率良く行うことを念頭に、職員一人一人がワークライフバランスを向上させるよう、働き方改革も進めております。

こうした取組を行う中部近畿産業保安監督部近畿支部に採用された職員は、近畿経済産業局との密接な人事交流により、様々な

キャリアを蓄積し、関西における成長分野の推進、地域経済の振興、及び経済産業省(本省)での政策立案業務など様々な業務を経験する機会もあります。

私自身も昭和63年に入省して30年以上経ちますが、これまで技術系職員として、産業保安の分野の業務においては、事業者への指導等のみならず、予算措置を講じた技術開発などを行って来ました。またJIS規格作成等のマネジメント、さらには地方自治体への出向など、産業保安とは違った分野での業務経験も積みました。それぞれでの経験が大きな財産となります。

結びとして、国家公務員採用試験を受験した技術系学生の皆様で、私どもの業務、そして職場に興味を持たれた方は、是非とも、中部近畿産業保安監督部近畿支部を訪問してください。

心よりお待ち申し上げております。



中部近畿産業保安監督部近畿支部
支部長 橋 幹広